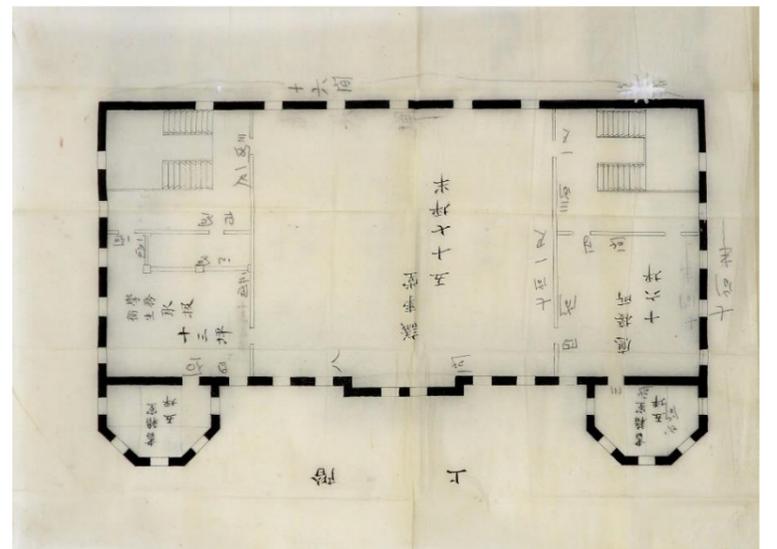
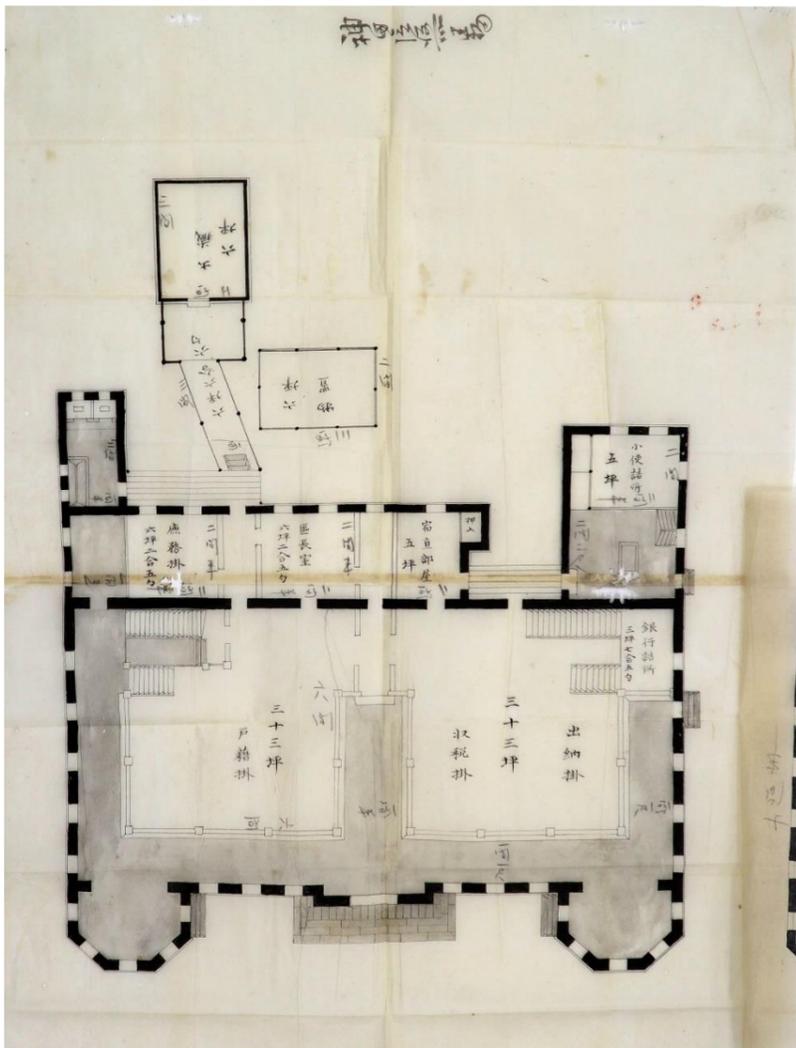


煉瓦造の区役所庁舎



左・右下：「(神田区役所1階平面図)・2階平面図」〔件名：元区庁舎建物敷地坪数等取調の儀神田、日本橋、芝、赤坂の4区へ照会の件〕『(普通第1種) 庶政要録・完 〈文書課〉』 [617. C7. 09]【重要文化財】
右上：神田区役所庁舎『風俗画報』第193号、明治32年

15区が誕生した当初、各区は、それまでの大区小区制の下での区務所や区内の寺社を間借りし執務にあたりました。

明治20年代に入ると、次々に区役所庁舎が新築されるようになりました。この頃の庁舎は、煉瓦造で建てられました。煉瓦造とした理由の一つには、大火に見舞われることが多かった東京の不燃化策として、国や東京府が煉瓦造を推奨していたことがあげられます。

現在、15区の区史や東京都公文書館が所蔵している公文書などで確認することができる最も古い煉瓦造の庁舎は、明治19年(1886)に竣工した浅草区役所庁舎です。

煉瓦造の東京府庁舎が竣工するのは、明治27年(1894)ですので、区の方が先に、煉瓦造の庁舎を建てたこととなります。